

中興化成、栃木・宇都宮工場でフッ素樹脂製チューブの新棟を建設

2020.6.4 No.4519

関連企業リンク

[中興化成工業](#)

関連地域

[栃木](#)
[長崎](#)

フッ素樹脂加工などを手がける中興化成工業(東京都港区赤坂2-11-7、03-6230-4414)は宇都宮工場(栃木県鹿沼市)で、フッ素樹脂製チューブの生産新棟を建設する。同工場既存棟の隣接地に、鉄骨造り平屋、一部2階建て延床面積2,400㎡程度の建屋を建設。順次着工し、2021年4月以降の竣工を目指す。なお、同社はF2松浦工場(長崎県松浦市)でシリコンウエハ洗浄槽の生産設備導入を2020年4月頃に完了させており、一連の投資額は10億円程度となる。



左が建設する新棟

同社はフッ素樹脂プラスチック製品を扱っており、屋根膜材料やチューブ、粘着テープ、基盤などを手がける。宇都宮工場ではフッ素樹脂製チューブの生産新棟を建設。完成後の生産能力は現状比で2倍程度となる見通しで、稼働に際して数人の新規雇用を予定している。なお、新棟の建設工事について、新型コロナウイルスの影響から着工が遅れる見通しだ。また、同社ではF2松浦工場へシリコンウエハ洗浄槽の製造設備も導入。2018年に竣工させたF1松浦工場(長崎県松浦市)へ設備を移動した空きスペースに導入したもので、既に完了させており、順次稼働させる計画だ。

同社が進めている一連の設備投資は、半導体関連の需要増加に対応するために計画した。半導体は5G(第5世代移動通信システム)や自動車のエレクトロニクス化の進展などにより需要の増加が見込まれている。同社では半導体関連製品としてウエハの洗浄部材である洗浄槽や、半導体の薬液の搬送に用いられるチューブなどの生産を行っており、増産体制を整えることで需要増に対応する。

※掲載記事の無断転載を禁じます。著作権は(株)重化学工業通信社に帰属します。

Copyright The Heavy & Chemical Industries News Agency, all rights reserved

記事の内容に関する

問い合わせは

重化学工業通信社 編集部

TEL : 03-5207-3332

FAX : 03-5207-3333

E-mailでのお問い合わせ 